取扱説明書

DAYTONA corp.
S68097①/⑦

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ホットグリップ ヘビーデューティ	適応車種	商品NO.
	汎用(22.2 径ハンドル)	68097

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

▲警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 高温注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 感電注意	表記の注意を告げるものです。	 接触禁止	表記の注意を告げるものです。

⚠注意

実施

・この商品は 12V 専用です。6V 車への取り付けはできません。

・1 インチハンドル車には使用できません。22.2 径ハンドル車専用です。

・また、頻繁にストップ&ゴーの繰り返しで短距離走行ではバッテリーへの充電が不十分です。そのようなご使用状況の際は走行後充電するなどのバッテリーのメンテナンスを行ってください。

・スズキ原付スクーターにグリップの内径が細い車両があります。(アドレス 110/V100 等約 19mm)このような車両には取り付けできません。取り付け作業前にハンドル外径・スリーブ径を計測・確認してください。

・ヤマハ初期マジェスティ(4HC)には適合しません。車両の発電能力不足の為使用出来ません。

・EFI(インジェクション)車や、イモビライザー装着車、テールランプなどに LED ランプを使用している車両は電源の配線にご注意ください。

2008/06/23

実施

EFI 車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットするものがあります。

電力制限のない配線を確認して配線してください。

また、テールランプに LED を使用している車両や、イモビライザーなどの盗難防止機能の車両などへの配線については特に注意してください。

LED ランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりまので絶対に配線しないでください。

イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障の原因となります。

ホットグリップ装着前に車両の特徴を把握してください。必要に応じて車両メーカーなどに問い合わせ・確認してください。

水ぬれ禁止

・スイッチ本体は防滴設計されていません。

・純正スロットルスリーブに車両によってはスベリ留めのリブが立っているものがあります。外径が約 25mm になるように削り落とすなどの加工をしてホットグリップを取り付けしてください。無理にグリップをねじ込んでしまうとグリップ内部の配線を痛めてしまいます。

その他

・ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行ってください。

エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます。(メインキーON の状態で電力が供給されます。)

また、グリップが暖まるまで少々時間が掛かりますので 3-5 分ほど暖気運転を行ってください。注)長時間の暖気運転は逆にバッテリーを痛めますのでご注意してください。

高温注意	セレクトスイッチの「スタート」は、最初の加熱時のみです。(約 1-2 分程度)。「スタート」位置のままで走行しますと、低温火傷の危険や、バッテリー上がりを起こします。通常時の使用は必ずセレクトスイッチを「ON」に切り替えて使用してください。また、素手、夏用のグローブでも低温火傷の恐れがあります。絶対にお止めください。

本商品の特徴

- バーエンド装着可能なエンド貫通タイプのホットグリップです。
- スタートポジション付きで、急速暖房が可能。

商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- 消費電力:約 57.6W(セレクタースイッチスタート時　急速暖房)
- 約 14.4W(セレクタースイッチオン時　通常暖房)
- グリップ全長:125mm (左右とも)
- グリップ内径:右側　内径約 25.4mm　外径約 37mm
  左側　内径約 22.2mm　外径約 37mm

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	グリップヒーター左	内径 22.2mm	1	⑤	結束バンド	150mm	2
②	グリップヒーター右	内径 25.4mm	1	⑥	結束バンド　小	100mm	1
③	セレクトスイッチ		1	⑦	ステンレスワイヤー	280mm	2
④	結線コネクター		2				

取付方法

作業手順

1. 車体バッテリーのマイナス端子を取外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁しておきます。

2. 左右の純正グリップを取外します。

ゴム系接着剤などで接着されていますので、マイナスドライバーなどをグリップとハンドルとの隙間に入れ、パーツクリーナーなどを隙間に塗布して取外してください。

3. ハンドルやスロットルスリーブなどに残った接着剤をきれいに除去してください。またスロットルスリーブの外径にすべり止めのリブがある場合は約外径25mmほどになるように削る加工をしてください。

4. ホットグリップの作動(暖まるか)確認をします。12V のバッテリーのプラス・マイナスにホットグリップから出ている 2 本の端子をつなげて暖めます。左右のグリップはつなげないで単品テストしてください。約 1 分ほどでテストは終了してください。暖まりを感じる程度でテストは終了です。それ以上の接続はバッテリーを消耗しますので控えてください。作業には十分ご注意ください。濡れた手や、近くに火気が無いことを確認して作業してください。

5. 左右のホットグリップの内側を脱脂します。ワックスオフなどの脱脂剤できれいにしてください。また、ハンドルやスロットルスリーブも脱脂してください。

6. 電源の配線を確認します。

下記の事例は参考です。車両や仕様により電源は異なります。テスターなどで電圧の確認や、配線図・などで確認して安全・確実に配線してください。

プラス側の電源　参考例(1)ﾌﾛﾝﾄﾌﾞﾚｰｷﾏｽﾀｰ　(2) ﾃｰﾙﾗﾝﾌﾟ　(3)車体ｱｸｾｻﾘｰ

(1) フロントブレーキマスターのストップランプセンサーを利用する。

(テスターでメインキーONで12V以上電気が流れている線を使用する。2極の端子のうち片側は12V流れていませんのでご注意ください。)接続には付属の結線コネクターなどを利用してください。

(2)テールランプの常時点灯(スモールランプ)の配線を利用する。

(テスターでメインキーONで12Vアクセサリー電気が流れている線を利用する。ブレーキランプの線に接続をするとブレーキ作動時のみしか電気が流れませんのでご注意ください。接続には付属の結線コネクターを利用してください。)

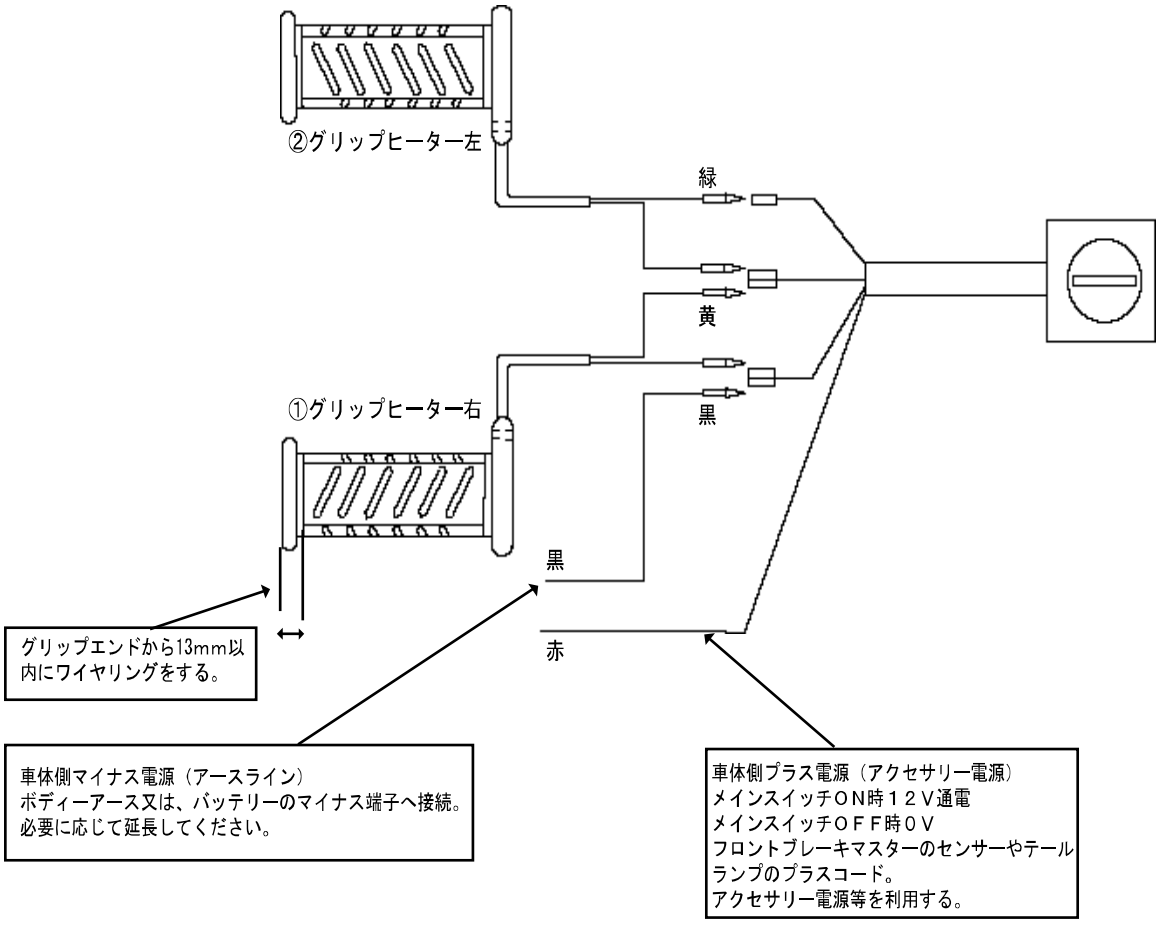
(3) 車体アクセサリー電源を利用する。メインキーONの状態で電源が入る線を利用する。(12V)

マイナス側の電源　　参考例(1)ボディーアース　(2)バッテリーのマイナス端子

(1) ボディーアースを利用する。フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

(2) 塗装の削りが困難な場合はアース線を延長して直接バッテリーのマイナスにつなげてください。

ホットグリップ配線



純正ハーネス色

メーカー名	プラス側(赤)	マイナス側(黒)
ホンダ	赤/黒　または黒	緑
ヤマハ	茶　または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

純正ハーネス色については参考資料となります。
車種によっては色が異なる場合があります。必ずオーナーズマニュアルやテスターでご確認ください。

7 左右のグリップの取付け。

脱脂をしたグリップの内側に接着剤を塗ります。塗りすぎに注意。また、グリップの取り付けハンドル側・スロットルスリーブ側にも接着剤を塗ります。
接着剤は熱の影響を受けないものを使用してください。デイトナ推奨接着剤(ホットグリップ用接着剤)をお勧めいたします。ご使用方法については接着剤の取り扱い説明書にしたがってお取り扱いください。

グリップを曲げないように丁寧に差し込んでください。（発熱線が断線する恐れがあります。）
はみ出した接着剤はウエスでふき取ってください。
アクセル側のグリップから出ている配線の取り回しは数回アクセルを回して配線が突っ張らないように余裕をもたせてください。

8 ①グリップヒーター左②グリップヒーター右③セレクトスイッチ(アース線・プラス電源線)、各キボシ端子を配線図通りに接続してください。車体マイナス電源コード(アース線)や、プラス電源線は④結線コネクター等を利用して車体の線と接続してください。
アース線や、プラス電源線については必要に応じて延長が必要な場合があります。その際に使用する線は同じぐらいの太さの線を使用してください。(被覆径で 2mm 以下の線は絶対に使用しないでください。)
③セレクトスイッチを両面テープでトップブリッジ等に貼り付けます。

次にハンドルを左右に動かし、配線が車体に干渉しない位置に余裕を持たせて、あまった線を⑤、⑥の結束バンドで束ねてください。

9 左右ともグリップエンドから 13mm 以内に⑦ステンレスワイヤーでワイヤリングをしてください。
ワイヤーを 2 周グリップエンドに巻きつけラジオペンチなどで締め付けます。ワイヤーツイスターを使用する際はステンレスワイヤーの端で手を切ることのないように処理してください。

グリップエンドから 13mm 以上には発熱線があります。ワイヤリングが発熱線にかからないようにしてください。

補修部品

商品名	品番	価格
補修グリップ右側	43918	¥4,410 税込み
補修グリップ左側	43919	¥4,410 税込み
セレクトスイッチ	24980	¥2,100 税込み

トラブルシューテング Q&A

Q グリップがあたたまらない。

A

① 各配線のキボシ・結線コネクターはしっかり接続されているか確認してください。
② セレクトスイッチから出ているアース線がしっかり接続されているか確認してください。
特にボディーアースの場合は、塗装が剥がれたところにしっかりアースがされているか確認してください。
アース不良では暖まり方が弱まります。
③ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電気がながれているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。

Q 左側のグリップ温度が低く感じる。

A

① グリップの構造とハンドルの素材などの関係で左側はハンドルに直接グリップが取付く為ハンドルに熱が逃げてしまう事があります。また、グリップのゴムの厚みも左側は厚いためアクセル側(右側)と比較をすると温度の差が出てしまう場合があります。ご了承ください。
汎用品の為車両によっては温度・暖まり具合が異なる場合があります。

Q グリップが長い。短くカットできますか。

A

① 左右のグリップ共グリップエンドから 13mm まではグリップをカットすることができます。13mm 以上はカットする事ができません。
また、グリップのねじれ防止の為にも付属のステンレスワイヤーを使用してワイヤリングをしてください。
グリップエンドをカットしたグリップにはワイヤリングはできません。

株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで